

2016年度年間指導計画（大阪府立守口東高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	美術 I	2	1	美術 1	

到達目標	美術の基礎的な技術や知識を習得し、表現する喜びを味わうとともに、高校生活において肝要となる集中力や根気を養う。
到達目標に向けての具体的な取組（指導上の留意点）	絵画、立体、クラフトなどの様々な分野の作品の制作を通して、上記の到達目標を目指す。同時に生徒が興味を持ちやすい教材であるよう心がける。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	オリエンテーション	今後の授業の予定。中学の美術で学んだことを高校の美術で活かすようにする。	中学で学んだこと等感想レポート
5月	鉛筆デッサン	自分の手を鉛筆デッサンする。	形を正確に捉えているか
6月	造形の基礎知識	色の三属性について学習する。 実際にポスターカラーを使って、条件にあった配色をする。	三属性の知識が正しく理解できているか
7月		（10段階の明度、同一色相、同一明度、同一彩度の条件で紙の上に絵の具で配色をする。）	
8月	夏休みの宿題	大阪府高校美術・工芸展の鑑賞レポート	感想が書けているか
9月	イメージ画	アクリルカラーを使って、独自のイメージを八つ切りのケント紙に表現する。	主題が表現できているか。 独自性が見られるか
10月	ジグソーパズル	しなベニヤを使ってジグソーパズルを作る。 パズルのふたもデザインする。	絵画やデザイン作品としても優れているか。
11月			切断や研磨などの仕事が丁寧に行われているか
12月	ペーパークラフト	黒と白の八つ切りケント紙を使って、動物や虫を立体的に作る。 立体に組み立てるための部品の形を作図し、切り抜く。黒と白の紙の色をうまく組み合わせて造形的にも面白い作品にする。	独自の創造的な発想による動物や虫がデザインされているか 色や形が造形的に良くなるよう工夫されているか
1月	立体・空間の構成	等角投影法により、八つ切りケント紙に鉛筆で空想の世界を描き表す。	立体や空間が正しく創造的に表せているか
2月			
3月	立体デザイン	立体デザインをして、4mm厚のしなベニヤを使って実際に組み立ててみる。 組み立てた立体に彩色をする。	形や色が造形的に優れているか、独自の工夫がされているか

2016年度年間指導計画（大阪府立守口東高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	美術Ⅱ	2	2	美術2	

到達目標	美術の各分野を通して表現の基礎を学び、創造的な自己表現を高める
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	美術Ⅰで学んだ様々な表現方法を活かし、さらにいくつかの基礎的技能を学び、及び、材料や道具の使い方を習得させる 創造力、ユニークな発想力、豊かな表現力を育成する

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	オリエンテーション	評価方法、基準の説明 提出作品だけでなく制作過程も見る	授業を受ける態度
5月	イメージトレーニング	鉛筆画、絵コンテの制作により、ユニークな想像力、発想力を育成する	提出作品、状況観察 発想の豊かさ
6月	木版画	彫刻刀の安全な使い方を学ぶ	状況観察
7月		版画の行程を理解し、版画独特の効果を見せよう。 作品の完成度を高める	完成度、工夫度を見る 自己、相互評価
8月	夏休みの宿題	展覧会、テレビ美術番組の鑑賞	鑑賞レポート
9月	飛び出す絵本	スケッチ描画、ストーリー作成	工夫、ストーリー性があるか
10月		描画・絵の具の種類、表現の工夫。 ページを開いた時の仕掛け作り。 丁寧に製本する。表紙にも描画して完成させる。	立体化されているか 完成作品の 相互評価
11月	書票の制作	ウルムチの姉妹校の作品を鑑賞し、参考にして、原画を作成する。 版面の彫刻。 表現方法と画面構成手順を考え、選んだ色画用紙に刷る。	作業手順・技術の習得 状況観察 完成作品の自己、相互評価
12月			
1月	ガラス絵	作業手順と描画材の説明 作品の下絵描き アクリル面にアクリルガッシュで描画する。作品の完成度を高める	手順の理解 技法に合った効果的な表現ができるか 額装等の工夫で作品を引き立てているか
2月		額に貼り付ける。 額の装飾なども工夫する。	提出作品相互評価
3月	スクラッチ絵	長谷川潔などのメゾチント作品を参考に見せる 引っ掻き線の集合による絵画表現の説明 技法に合った下絵を考える。 下絵をスクラッチ用紙にトレースし、ニードルで引っ掻いて描画する	スクラッチ独特の表現効果を活かしているか 完成作品の相互評価

2016年度年間指導計画（大阪府立守口東高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	美術Ⅲ	2	3	高校美術3	

到達目標	作品の制作を通して、美的感性や創意工夫する心や計画性を養い、創造的で、精神的に豊かな生活が送れるような人間を育成する。
到達目標に向けての具体的な取組（指導上の留意点）	美術Ⅰ・Ⅱで学んだ知識技能を応用発展させた様々な分野の作品の制作を通して、上記の到達目標を目指す。美術Ⅲにおいては特に自ら考え、工夫し、計画的に制作する態度を養う。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	オリエンテーション	今後の授業の予定。美術Ⅰ・Ⅱで学んだことを美術Ⅲで活かすようにする。	授業を受ける態度
5月	人物クロッキー	いくつかのグループに分かれて、交代で人物クロッキーをする。	人物の形を的確に捉えているか
6月	ショッピングバッグの制作	街で見かけるショッピングバッグのデザインを調査し、スケッチしてくる。	実際にどのようなデザインがあるかよく観察すること
7月		独自に紙製ショッピングバッグのデザインをし、デザインに適した絵の具などの画材を自ら工夫し、仕上げる。	デザインは創造的で、かつ、機能的か
8月	夏休みの宿題	美術展の鑑賞レポート、小論文	多く書けているか
9月	鑑賞	17～19世紀の風景画を中心に、一部20世紀以降の抽象画も含めた美術作品のスライドやビデオを鑑賞する。	鑑賞する態度 印象派から現代抽象画への流れを理解しているか
10月	エッチング版画の制作	デューラーやレンブラント等の優れた銅版画作品を参考に見せる。 凸版凹版平版など版画の種類を学ぶ。 エッチング版画の技法を習得し、それぞれが工夫した独自のエッチング版画作品を作る。	エッチング版画の制作手順が正しく理解できているか 技法に応じた効果をうまく利用しているか
11月	自由制作	絵画（油彩、水彩、アクリル、パステル、デッサン）立体（木彫、レリーフ彫刻、彫塑） 工芸（染色、陶芸、アクセサリー） 版画（木版、エッチング版画、CG）等	制作計画書がきちんと書かれているか 資料探し、画材探しなど自発的に意欲的に取り組む事ができるか
12月		から自分で好きな分野の作品を選択して制作する。	
1月	自由制作の完成	作品を完成させる。	完成度は高いか
2月		お互いの作品を鑑賞する。	自分で説明できるか
3月		合評する。	意見が言えるか